

仕様

仕様は、製品改良のため予告なく変更することがあります。

電源電圧	交流100V	水道水圧	0.03 ~ 1MPa(0.3 ~ 10kgf/cm ²)
周波数	50/60Hz共通	洗浄方式	回転噴射ノズル方式
定格電流	11.5/11.9A (50/60Hz)	すすぎ方式	ためすすぎ
消費電力	洗浄モーター 150/190W(50/60Hz) ヒーター 1000W 最大消費電力 1190/1190W(50/60Hz)	乾燥方式	強制排気乾燥方式 ヒーター加熱とファンによる送風
外形寸法	(幅)500mm×(奥行)335mm×(高さ)492mm	標準食器容量	食器点数 約35点
製品質量	約17kg		

電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を動作させるため、約1Wの電力を消費しております。

愛情点検 長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を!



このような症状は
ありませんか

- 水もれがする。
- こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- 食器洗い乾燥機にさわるとビリビリ電気を感じる。
- 扉の付けが揃っていない。
- その他の異常や故障がある。

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

お客さまメモ	
品番	115-1045
ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	電話 () -
もよりの当社 ご相談窓口	電話 () -

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照ください。

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガスに連絡してください。

85100

給湯タイプ 食器洗い乾燥機

品番 115-1045 取扱説明書

保証書別添付



大阪ガス

目次

安全上のご注意	1~3
お願い	3
入れてはいけないもの	4
落ちない汚れ	4
各部のなまえ	5
ドアの開閉	6
付属品	6
操作パネル部のなまえとはたらき	7
コースの切り換わりかた	8

ご使用の前に

使いかた	9~10
食器のセット	11~12
食器の入れかた	13~14
コース別操作の手順	15~19
・「標準」コース	15
・「スピーディ」コース	16
・「快速洗い」コース	17
・「高温」コース	18
・「乾燥60分」コース	19
いろいろな運転のしかた	19
お手入れ	20
所要時間の目安	21

使いかた

仕上がりが悪いと思われる場合	22
扉え付け	23~26
こんな表示がでたら	27~28
こんなときは故障ではありません	28
ブザー音について	29
凍結・停電・断水したとき	29
アフターサービスについて	30
別売品	30
仕様	裏表紙

その他

上手に使って上手に節電



このたびは食器洗い乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みにになり、正しくご使用ください。
保証書は必ず記入事項を確かめて、この説明書とともに大切に保存してください。
この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにてお取り寄せください(有料)。

安全上のご注意

必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分しています。

警告 この表示の欄には、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示の欄には、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

定格15A以上の専用コンセントを単独で使ってください

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

交流100Vの専用コンセントを単独で使ってください

電源プラグのほこり等は定期的にとってください

刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している電源プラグは使わないでください。ほこりが付着している場合は、よくふいてご使用ください。火災の原因になります。

電源コード・電源プラグが傷んでいるとき、差し込みがゆるいときは使用しないでください

感電・ショート・発火の原因になります。販売店に点検・修理を依頼してください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

アースを確実に取り付けてください

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは、必ず電気工事店または販売店にご相談ください。(有料)

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください

感電やけがをすることがあります。また、お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に必ず点検修理を依頼してください

感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

お手入れは運転終了後30分以降にする

食器の取り出し、フィルターやヒーターカバーの掃除、お手入れは運転終了後30分以上経過してから行ってください。やけどをする恐れがあります。

火気や引火物を近づけない

火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください。変形や火災の恐れがあります。

本体への水や衝撃は禁物

水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。

※お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示の例

△記号は、「注意（警告）事項」を示します。（左図の場合は、「一般注意」を示す。）

⊘記号は、「禁止事項」を示します。（左図の場合は、「分解禁止」を示す。）

●記号は、「強制事項」を示します。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜く」を示す。）

警告

運転中または、終了後30分間はヒーターカバーに触れない

運転中または運転終了後30分間は絶対にタンクやヒーターやヒーターカバーに触れないでください。やけどをする恐れがあります。

お子様に注意する

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。

ご自分で絶対に分解や修理はしない

改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す

火災や変形の恐れがあります。

上に重いものや水の入った容器を置かない

天面の上には、質量が6kgを超えるものは置かないでください。天面の上には、落下して危険なもの（水や熱湯の入った容器・器具・電気製品・ガラス類・刃物類等）は置かないでください。ドアの開閉で上に置いたものが落ちるとケガをすることがあります。また、こぼれた水で絶縁が悪くなり、漏電や火災の原因になります。

注意

本体は、しっかりとした水平な面に据え付けする

正常な運転ができない恐れがあります。

ドアを開閉するときは、指のはさみ込み等に注意してください

指のはさみ込みや、角部でのケガに注意してください。

ご使用の前に

安全上のご注意

注意



開いたドアや本体を強く押さない

● 転倒、落下によりケガをすることがあります。



高温水や湯気に注意する

● 運転中はドアを開けないでください。高温の湯気が出て、やけどをすることがあります。洗浄水が高温になっており、手を触れるとやけどをします。



排気口には近付かない

● 排気口付近には近付かないでください。湯気・温風によりやけどをすることがあります。



電源コードの取り扱い

● 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。



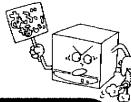
長期間使用しない時は電源プラグを抜く

● 長期間ご使用にならないとき、異常があるときは、必ず湯栓を閉じ電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



本機からの排水には触れないように注意してください

● 高温の場合があり、やけどをすることがあります。



お願い

専用洗剤以外は使わないで



- 一般の台所用洗剤を使用すると泡が異常に発生し、運転できません。
- 一般の台所用洗剤が付いた食器は、入れないでください。

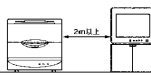
※異常表示が出る場合があります。
27 こんな表示がでたら 参照

70℃以上のお湯は使わないで



- 70℃以上のお湯が供給される蛇口には接続しないでください。ホースや内部の部品が破損する恐れがあり運転を停止することがあります。

テレビやラジオなどの電気製品を近付けないで



- テレビやラジオなどから2m以上離してください。画像の乱れや雑音が入ることがあります。

ドアロックの穴や排気口に物を入れたりふさがなくて



- ドアロックの穴や本体前面の排気口には指や物を差し込まないでください。故障や事故の原因になります。

入れてはいけないもの

■ 内の数字は説明のあるページです。

プラスチック容器等の軽くて小さい食器



- 洗浄水で飛ばされ下に落ちる場合があります。
- ヒーターカバーの上に落ちた場合、ヒーターの熱で変色したり、焦げたような臭気がしたりするので入れないでください。発煙や故障の原因となります。

ふきん・スポンジなど



- 食器および調理器具以外は入れないでください。発火・発煙の恐れがあります。

びん・徳利などの食器・ひびの入った食器



- 口の小さいものは、中が洗えません。
- ひびが入った食器は割れる恐れがあります。

銀製・洋銀製食器など



- 金色にかわり、その後変色します。

耐熱90℃以下のプラスチック製のもの

(耐熱表示のないものも含む)
ほ乳瓶の乳首など小さくて袋状のもの



- 変形します。
- ※まな板に関しては 117 まな板の場合 参照

クリスタルガラス・カットグラス・強化ガラス



- クリスタルガラスは、表面が侵食され白くにごります。
 - カットグラス・強化ガラスは、水温変化で割れることがあります。
- ※「乾燥60分」コースのみでの使用は可能です。

漆塗り食器・重箱・金箔入りの食器・木製の食器



- はがれる恐れがあります。

アルミ製の鍋や食器



- 白くなり、その後灰色に変色します。

ご使用前に

落ちない汚れ

- 手洗いで落ちにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。こすり落としてから入れるか、手洗いしてください。一般の台所用洗剤で手洗された食器を入れるときは、洗剤が残らないように十分に洗い流してください。すすぎが不十分ですと、庫内で泡が異常に発生し、正常に運転できません。

※異常表示が出る場合があります。 27 こんな表示がでたら 参照

(例)



グラタンのこげつき



茶わん蒸しなどのがんなごみ汚れ



鍋の揚げこげ

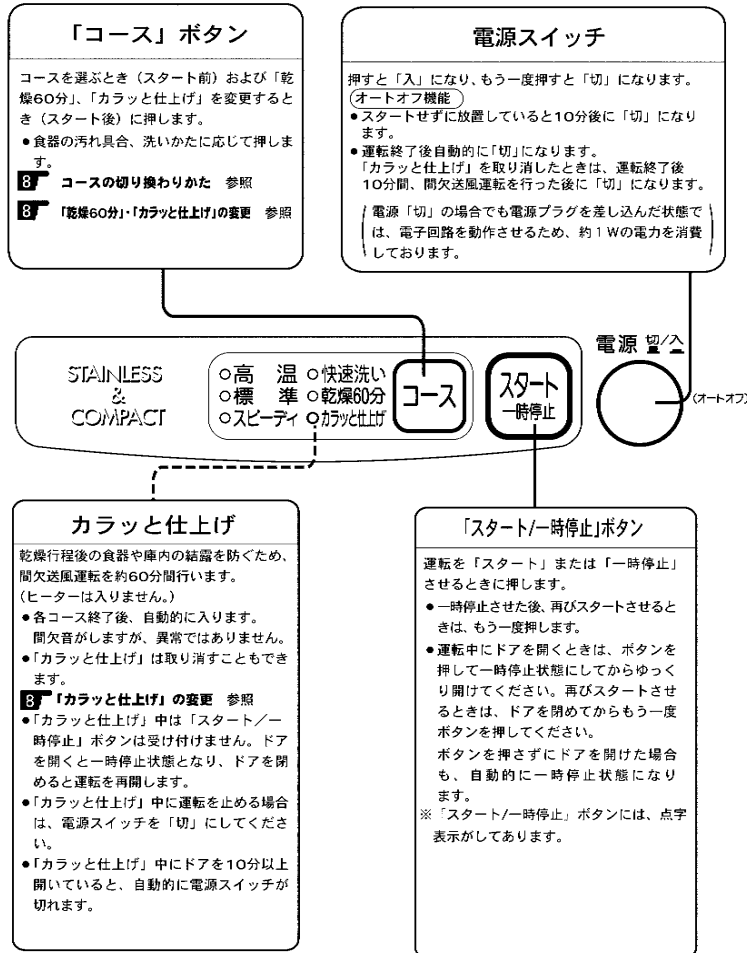


口缸の汚れ
(種類や条件により、落ちない場合があります。)

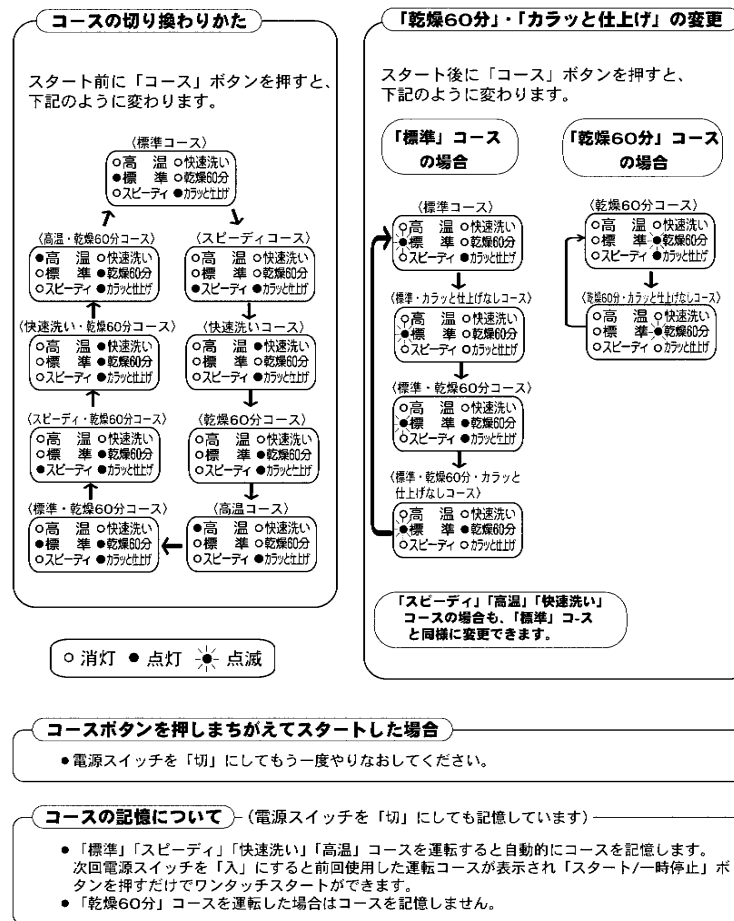


レモン汁をかけたさしみの跡

操作パネル部のなまえとはたらき



コースの切り換わりかた

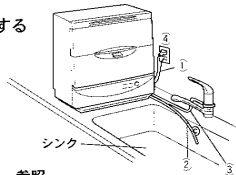


使いかた

■ 内の数字は説明のあるページです。

運転前の準備

- ① アース線が接続されているか確認する
- ② 排水ホースを、流し台のシンクへ排水できるようにセットする
(無理な力がかからない状態で、ホースの先端を吸盤で確実に固定してください。)
- ③ 給湯ホースをつなぐ
※給湯器の電源が入っていることを確認してください。
必ず70℃以下に設定してください。(給湯温度の設定は、60℃をおすすめします。)
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込む **23** ~ **26** 掘え付け 参照
※給湯・排水ホースが折れ曲がっていると異常を検知し、運転を停止することがあります。
※給湯ホースが正しく取り付けられていないと水もれの原因となります。

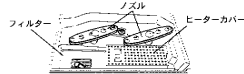


ご注意

※給湯器を高温に設定し食器洗い乾燥機をご使用される場合、他の湯栓からも高温のお湯がでることがありますので、注意してください。

食器を入れる前に

- ① フィルターとヒーターカバーが正しくセットされているか確認する
ノズルが手で軽く回ることを確認してください



- ② 食器の残菜(食べ残し)を取り除く
(ひどい油のかたまり、ごはん粒、わかめ、かつおぶし、魚の骨、つまようじ輪ゴムなどは取り除いてください。)

4 入れてはいけないもの・落ちない汚れ 参照



食器をセットする

- ① カゴをゆっくり引き出し、食器をセットする **13** ~ **14** 食器の入れかた 参照
- ② カゴを押し込み、洗剤投入口に洗剤を入れる **3** お問い合わせ 参照
- ③ 上ドアを閉めてから、下ドアを閉める **6** ドアの開閉 参照

運転する

コースを選び運転する

- | | |
|----------|--|
| 標準コース | → 食後すぐ洗うとき
(ふつうの汚れのとき) |
| スピーディコース | → 軽い汚れを短時間で洗うとき |
| 快速洗いコース | → 軽い汚れ(パン食等)、つけおき、または軽くすすいだ食器を洗うとき
洗いからすすぎまで約10分で行う高速コースです。
チョットした洗いに便利です。 |
| 高温コース | → しつこい油污れや、食事のあと数時間がたった汚れを洗うとき
(油污れの多いとき) |
| 乾燥60分コース | → 手洗した食器を乾燥するとき/食器をあたためるとき |

運転後のあとしまつ

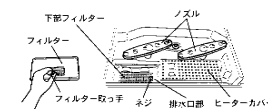
警告



乾燥終了直後はフィルター取っ手やヒーターカバー及びヒーターの表面が熱くなっています。食器の取り出し・フィルターの掃除・お手入れは、乾燥終了後約30分たって庫内が冷えてから行ってください。
やけどをする恐れがあります。

フィルターのお手入れをする

- フィルターを取り出す
- フィルターを取り出す時、ノズルが当たらないように、ノズルの位置を横に向けてください
(残菜を庫内に落とさないように注意してください。)
- たまった残菜を捨て、フィルターを洗う
- フィルターをもとどおり排水口部にセットする
- ノズルが手で軽く回ることを確認してください



ご注意

フィルターを洗わないと目づまりして正常な運転ができなくなる場合があります。下部フィルター及びヒーターカバーに残菜がたまった場合は取り除いてください。ヒーターカバーの下に残菜が付着した場合は取り除いてください。
20 下部フィルターのお手入れ・ヒーター部のお手入れ 参照
下部フィルター部に残水がありますが異常ではありません。

ご使用の前に

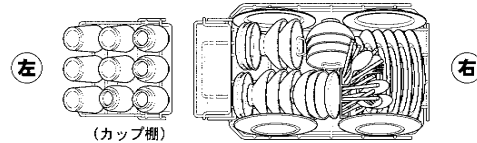
使いかた

食器のセット

標準的な食器のセット例

5人用のセット例

- 茶わん ……5点
 - 吸物わん ……5点
 - 大皿 ……5点
 - 中皿 ……5点
 - 小皿 ……6点
 - 湯のみ ……4点
 - コップ ……5点
- 計35点
- 小物
はし
スプーン
フォーク



※食器の形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。
 ※特に大きい食器類は、食器間のスキ間を取るため1つおきに入れてください。
 ※カゴは左右逆向きに使うことができます。

包丁・まな板の場合

包丁の場合

- 包丁をセットするときは、ケガ防止のために刃の部分を下向きに入れてください。
- 運転終了後のフィルターのお手入れは、包丁を片づけてから行ってください。
- 鉄製の包丁はさびることがありますのでさけてください。

まな板の場合

- まな板は汚れのひどい側を内側に向けてください。
- 木製まな板はキズの奥に入り込んだ汚れが洗えない場合があります。プラスチック製まな板をご使用ください。
- プラスチック製まな板は耐熱温度70℃以上のものをお使いください。

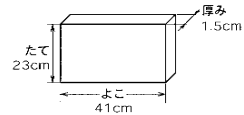
また、乾燥後しばらくは熱により変形しやすくなります。取り扱いには十分注意してください。

※まな板を入れた場合、セットできる食器は約33点になります。(逆入れの時は、約32点)

※食器の形状・大きさによっては、まな板がセットできない場合があります。

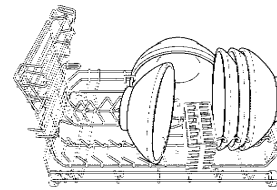
洗えるまな板の大きさ

- 厚み1.5cm以下、たて23cm以下、よこ41cm以下

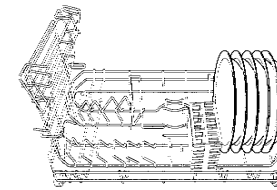


いろいろな食器のセット例

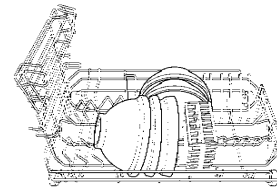
ラーメン鉢の場合



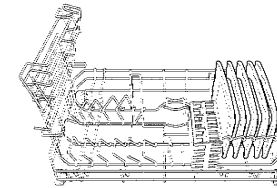
カレー皿の場合



どんぶり鉢の場合

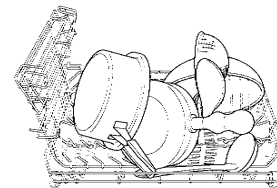


角皿の場合



使
い
か
た

調理器具の場合



※形状によっては、所定の場所に入らない場合があります。

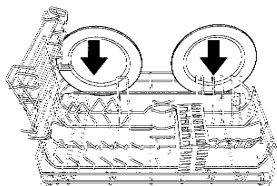
食器の入れかた

■内の数字は説明のあるページです。

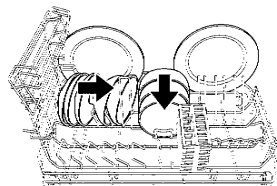
5人用食器の入れ方 (食器は汚れた面が矢印方向に向くようにセットしてください。)

かごをゆっくり引き出します

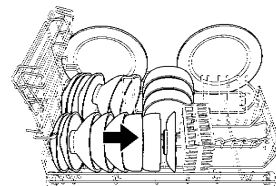
1 カップ棚を上げて、
中皿 (2枚) をセットする



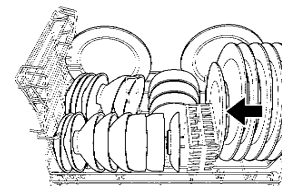
2 小皿 (3枚) 茶碗 (2個)
汁わん (3個) を入れる



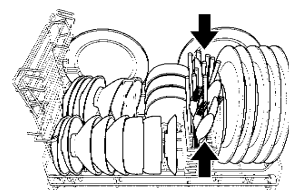
3 小皿 (3枚) 茶碗 (3個)
汁わん (2個) を入れる



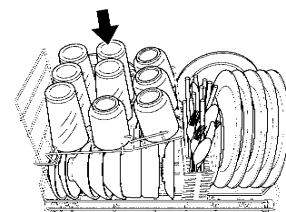
4 大皿 (5枚) 中皿 (1枚)
を入れる



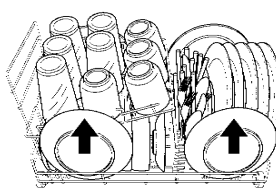
5 はしは汚れた方を下に、その他の
小物は汚れた方を上にして入れる



6 カップ棚をおろして
コップ、湯のみをおく



7 中皿 (2枚) を入れる



お願い

小物が小物入れの横から飛び出さないように注意してください。
プラスチック製のはしやフォーク、スプーン、バターナイフ
などは特に注意してください。
落下して、ヒーターカバーやヒーターに触れると溶けたり、
臭いの原因になります。

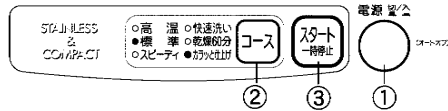
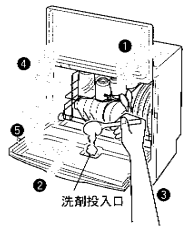
かごをゆっくり押し込みます
上ドアを開けてから
下ドアを開けてください
⑥ドアの開閉 参照

使
い
か
た

コース別操作の手順

■ 内の数字は説明のあるページです。

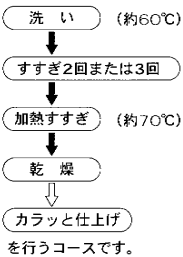
標準 コース 食後すぐに洗うとき（ふつうの汚れのとき） ●点灯 ○消灯



湯栓を開く（湯栓を開け忘れると運転できません。）

- ① 食器をカゴにセットする 13 ~ 14 食器の入れかた 参照
- ② カゴを庫内に押し込む
- ③ 洗剤投入口に専用洗剤を約一杯分入れる 3 お問い合わせ 参照
※洗剤投入口に必ず入れてください。
それ以外の所へ入れると給湯準備中に洗剤が流れ出してしまいます。
- ④ 上ドアを開める 6 ドアの開閉 参照
- ⑤ 下ドアを開める
※ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

「標準」コースとは



※「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。
※すすぎ2回目終了後の水温が約40°C以下の場合すすぎが3回になります。

- ① 電源スイッチを押す
 - ② 「コース」ボタンを押し「標準」コースを選ぶ (または「標準・乾燥60分」コース)
 - ③ 「スタート/一時停止」ボタンを押す
- 乾燥行程終了後、ブザーが3回鳴ったら運転終了 (その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更をするとき

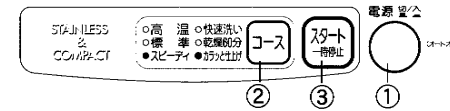
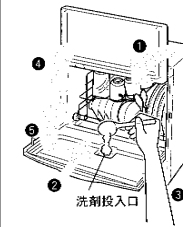
- ① 「コース」スタート後「コース」ボタンを押し変更する 8 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

ご注意

●ご使用後は、必ず湯栓を開めてください。
万一の水もれを防止するためです。

湯栓を開める
フィルターのとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルが当たらないように、ノズルの位置を横に向けてください (運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。)
10 運転後のあとしまつ 参照

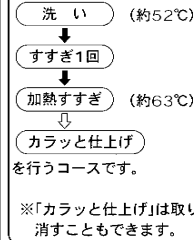
スピーディ コース 軽い汚れを短時間で洗うとき ●点灯 ○消灯



湯栓を開く（湯栓を開け忘れると運転できません。）

- ① 食器をカゴにセットする 13 ~ 14 食器の入れかた 参照
- ② カゴを庫内に押し込む
- ③ 洗剤投入口に専用洗剤を約一杯分入れる 3 お問い合わせ 参照
※洗剤投入口に必ず入れてください。
それ以外の所へ入れると給湯準備中に洗剤が流れ出してしまいます。
- ④ 上ドアを開める 6 ドアの開閉 参照
- ⑤ 下ドアを開める
※ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

「スピーディ」コースとは



※「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。

- ① 電源スイッチを押す
 - ② 「コース」ボタンを押し「スピーディ」コースを選ぶ (または「スピーディ・乾燥60分」コース)
 - ③ 「スタート/一時停止」ボタンを押す
- 乾燥行程終了後、ブザーが3回鳴ったら運転終了 (その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更をするとき

- ① 「コース」スタート後「コース」ボタンを押し変更する 8 「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更 参照

ご注意

●ご使用後は、必ず湯栓を開めてください。
万一の水もれを防止するためです。

湯栓を開める
フィルターのとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルが当たらないように、ノズルの位置を横に向けてください (運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。)
10 運転後のあとしまつ 参照

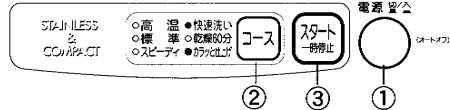
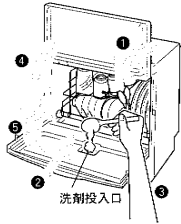
使いかた

コース別操作の手順 (つづき)

■ 内の数字は説明のあるページです。

快速洗い コース

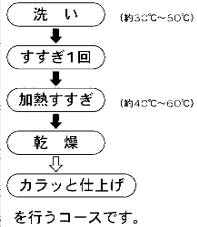
軽い汚れ (パン食等)、つけおき、または軽くすすいだ食器を洗うとき



湯栓を開く (湯栓を開け忘れると運転できません。)

- ① 食器をカゴにセットする 13 ~ 14 食器の入れかた 参照
- ② カゴを庫内に押し込む
- ③ 洗剤投入口に専用洗剤を約一杯分入れる 3 お買い 参照
※洗剤投入口に必ず入れてください。それ以外の所へ入れると給湯準備中に洗剤が流れ出てしまいます。
- ④ 上ドアを開める 6 ドアの開閉 参照
- ⑤ 下ドアを開める
※ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

「快速洗い」コースとは

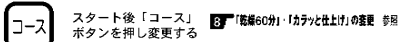


※「カラッと仕上げ」は取り消すことができます。

- ① 電源スイッチを押す
- ② コース 「コース」 ボタンを押し「快速洗い」コースを選ぶ (または「快速洗い 乾燥60分」コース) ブザー音が、ピピピと3回鳴ったらもう一度ドアを開けてください
- ③ スタート/一時停止 「スタート/一時停止」ボタンを押す

加熱すすぎ終了後ブザーが2回鳴ってすすぎ終了をお知らせします。その後乾燥を行いますので、省きたい場合は、電源スイッチを「切」にしてください。食器をしっかりと乾かせたい場合は、「乾燥60分」をお勧めします。乾燥行程終了後ブザーが3回鳴ったら運転終了 (その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更をするとき



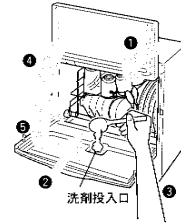
湯栓を開める
フィルターのとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルが当たらないように、ノズルの位置を横に向けてください (運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。)
10 運転後のあとしまつ 参照

ご注意

- ご使用後は、必ず湯栓を開めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

高温 コース

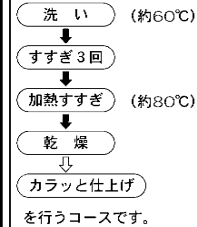
数時間たってから洗うとき (油污れの多いとき)



湯栓を開く (湯栓を開け忘れると運転できません。)

- ① 食器をカゴにセットする 13 ~ 14 食器の入れかた 参照
- ② カゴを庫内に押し込む
- ③ 洗剤投入口に専用洗剤を約一杯半~約二杯分入れる 3 お買い 参照
※洗剤投入口に必ず入れてください。それ以外の所へ入れると給湯準備中に洗剤が流れ出てしまいます。
- ④ 上ドアを開める 6 ドアの開閉 参照
- ⑤ 下ドアを開める
※ドアを強く閉めると洗剤がこぼれ落ちる恐れがあります。

「高温」コースとは



「標準」コースより、洗い (約15分間長く行います。)
※「カラッと仕上げ」は取り消すことができます。

- ① 電源スイッチを押す
- ② コース 「コース」 ボタンを押し「高温」コースを選ぶ (または「高温・乾燥60分」コース) ブザー音が、ピピピと3回鳴ったらもう一度ドアを開けてください
- ③ スタート/一時停止 「スタート/一時停止」ボタンを押す

乾燥行程終了後、ブザーが3回鳴ったら運転終了 (その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更をするとき



ご注意

- ご使用後は、必ず湯栓を開めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

湯栓を開める
フィルターのとしまつをする
フィルターを取り出す時、ノズルが当たらないように、ノズルの位置を横に向けてください (運転終了後、約30分たって庫内が冷えてから行ってください。)
10 運転後のあとしまつ 参照

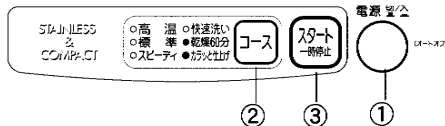
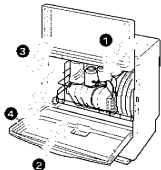
使
い
か
た

コース別操作の手順（つづき）

乾燥60分 コース

手洗いた食器を乾燥するとき
食器をあたためるとき

●点灯
○消灯



- ① 食器をカゴにセットする
- ② カゴを庫内に押し込む
- ③ 上ドアを閉める
- ④ 下ドアを開める

- ① 電源スイッチを押す
- ② 「コース」ボタンを押し「乾燥60分」コースを選ぶ
ブザー音が、ピピピと3回鳴ったらもう一度ドアを開めてください
- ③ 「スタート一時停止」ボタンを押す

乾燥行程終了後、ブザーが3回鳴ったら運転終了
(その後「カラッと仕上げ」に入ります。)

「乾燥60分」・「カラッと仕上げ」の変更をするとき

- スタート後「コース」ボタンを押して変更する

「乾燥60分」コースとは

乾燥

カラッと仕上げ

を行うコースです。

(洗行程、すすぎ行程は含みません。)

※「カラッと仕上げ」は取り消すこともできます。

いろいろな運転のしかた

ブレーカーを切ったり、停電又は電源プラグを抜くとすべて解除され初期状態（購入時の設定）に戻ります。

終了ブザー音を消したい場合

- 電源スイッチ「入」の状態ですら「スタート一時停止」ボタンを約3秒間押し続けます。「ピー」とブザーが鳴ったら設定完了です。

※スタート時及び運転中いつでも設定できます。ただし、運転中に行くと一時停止状態になりますので、その際は、「スタート一時停止」ボタンを押し再スタートしてください。

※停電したときや電源プラグを抜いた場合、終了ブザーが鳴る状態にもなります。

排水したい場合

- 排水のみをしたいときは、「コース」ボタンで「乾燥60分」コースを選んで運転してください。スタート後約1分ぐらいで排水は完了しますので、必ず電源スイッチを「切」にしてください。電源スイッチを切り忘れた場合は、続けて残り時間の乾燥運転を行います。

コースボタンを押しまちがえてスタートした場合

- 電源スイッチをいったん「切」にし、はじめからやり直してください。

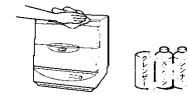
お手入れ

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、庫内が冷えてから行ってください。運転終了直後は底にあるヒーターやヒーターカバーが高温のため、さわるとやけどをする恐れがあります。

本体のお手入れ

本体表面は、ぬれたやわらかい布で汚れをふいてください。

- 汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませてふいてください。
- ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックスなどの使用はやめてください。（塗装面やプラスチック部を傷めます。）
- 前部の排気口にゴミが詰まったときは、掃除機などで取り除いてください。



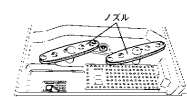
ドアやタンクの内面は、やわらかい布でていねいにふいてください。

- においや内面の汚れが気になるときは、専用洗剤を使用し、食器を入れずに空運転してください。（ただし、カゴは入れて運転してください。）

ノズルのお手入れ

- ノズルの穴に異物が詰まった場合は、まず、カゴを取り出しノズルの穴の異物をつまようじなど先のとがった物で取り除いてください。（この時、ノズルに大きな力を加えないでください。故障の原因になります。）
- ノズルが手で軽く回ることを確認してください。

※ノズルは、はずれない構造になっていますので、絶対にはずさないでください。

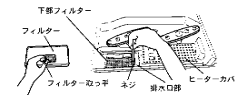


下部フィルターのお手入れ

再汚染防止のために二重フィルター構造を採用しています。

- 下部フィルターが目づまりした場合は、ネジをプラスドライバーではずし、下部フィルターを取り出して、たまった残菜をきれいに取り除いてください。
- 異物が詰まったままの状態ですと、ノズルからの水の出が悪くなり、正常に運転しない場合があります。
- 下部フィルターをはずしたとき、底部に残水がありますが異常ではありません。

※下部フィルターを取り付けるとき、ネジを締めすぎないようにしてください。



ヒーター部のお手入れ

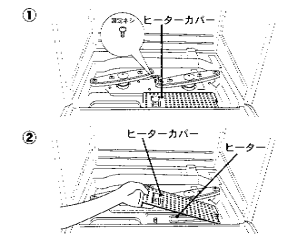
ヒーター部のお手入れは、運転終了後約30分たって庫内が冷えてから行ってください。

ヒーターカバーの下に汚れが付着したり、小物が落下した場合、つぎの手順でお手入れしてください。

- ① 固定ネジをドライバーを使ってはずしてください。
- ② ヒーターカバーの左端を軽く持ち上げたままお手入れしてください。

※ヒーターカバーは無理に取りはずさないでください。ヒーターカバー及びヒーターの変形や傷の原因になります。

- ③ お手入れ終了後、ヒーターカバーをもとの位置にセットしドライバーで固定ネジを確実に固定してください。



長期間使用しない場合

- 湯栓は、必ず閉めてください。万一の水もれを防止するためです。
- フィルター及び下部フィルターにたまった残菜をきれいに取り除いてください。
- カゴから食器を取り出してください。
- 本体底面にある、水抜きキャップを外して、庫内の残水を抜いてください。水抜き後、必ず水抜きキャップをもとの位置に正しく取り付けてください。
- 次にお使いになるときは、専用洗剤を使用し、カゴには食器を入れずに空運転してからお使いください。

所要時間の目安

■ 内の数字は説明のあるページです。

- 下表の所要時間は、給水圧0.3MPa(3kgf/cm)、室温20℃、給湯温度60℃の場合の目安です。
(所要時間は、水圧・湯温・室温・給湯能力によって変わります。)
(下表の所要時間には、「カラッと仕上げ」の時間は含まれません。)

コース	所要時間	所要時間の内訳						説明のページ
		給湯準備	洗い	すすぎ 1 2 3	加熱すすぎ	乾燥		
標準	約46分	1分	13分	※ 12分		20分	15	
スピーディ	約30分	1分	7分		7分	15分	16	
快速洗い	約25分	1分	5分		4分	15分	17	
高温	約67分	1分	28分		18分	20分	18	
乾燥60分	約60分					60分	19	

※すすぎ2回目終了後の水温が約40℃以上あるときは3回目のすすぎは行いません。
 (水温に関係なく各1分間すすぎを行います。)

給湯準備について

- 「乾燥60分」コース以外、スタート直後に給湯準備を行います。
- 給湯準備では、給湯配管にたまった冷たい水を排水し、洗浄開始から給湯温度で食器の洗浄を行うために、約1分間の給・排水を行います。
- 「給湯準備」は、取り消すこともできます。
- ※ 「給湯準備」を取り消した場合は、上記の各コースの所要時間が長くなる場合があります。

給湯準備を取り消したい場合

(電源スイッチを「切」にしても記憶しています)

- スタート前に「コース」ボタンを4秒間押し続けると受付完了のブザー音が「ピー」と鳴り「給湯準備」をしない状態になります。再び「給湯準備」を行いたい場合は、同じ操作をしてください。受付完了のブザーが「ピッ」と鳴り「給湯準備」をする状態になります。

乾燥60分について

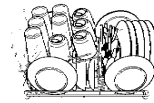
- 冬場など、食器が乾きにくい場合は、「乾燥60分」を設定してください。
- 「乾燥60分」の変更 参照
- 「乾燥60分」を設定すると、所要時間は上表より、「標準」「高温」コースで約40分、「スピーディ」「快速洗い」コースで約45分長くなります。

カラッと仕上げについて

- 「カラッと仕上げ」を設定すると、所要時間は上表より約60分長くなります。

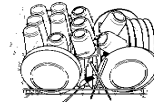
仕上がりが悪いと思われる場合

食器の糸底部に水が残る場合



- 食器の形状やセットのしかたによっては運転終了後、糸底部に水が少し残ることがありますが、異常ではありません。

洗えていないものがある場合



- 食器や小物が重なりすぎていませんか。
- 小物や食器の一部がカゴからはみだして、ノズルの回転を止めていませんか。

食器が黄色く、または薄黒くなっているとき



- 水に含まれている鉄分や茶しぶなどのためです。ときどきは食器をこすって洗ってください。

その他仕上がりが悪い場合

- 食器の汚れた面が上向きになっていませんか。
- 食器のこげつきや、こびりついた汚れは前もってよく落としてから入れましたか。
- むりな入れかたをしていませんか。
- コースの選択は適切でしたか。

ガラス食器に薄い水滴のあとが残る場合



- 水に含まれているミネラル分のため、洗剤やすすぎ不足によるものではありません。
- 水質硬度の高い地域では洗剤を多め(一杯半~二杯)に入れてください。

庫内に水滴が残る場合



- 運転終了後にタンクの天井やドアの内側に水滴が残ることがあります。これは庫内の結露現象によるもので、異常ではありません。
- 「カラッと仕上げ」を使用すると、結露現象による水滴の付着が防げます。

ガラス食器類が白くもるとき

- 表面に小さな傷のついたガラス食器類を高温の洗浄水で洗うと、侵食が進み白くもることがあります。
- 洗浄温度の低い「スピーディ」コースの使用をおすすめします。

使いかた

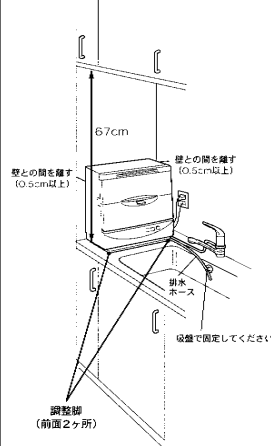
その他

据え付け

■ 内の数字は説明のあるページです。


- ◆ 本体やカゴに貼ってあるテープや緩衝材などは、全部取りはずしてください。
- ◆ 付属品を確認してください。6 付属品 参照

1 設置場所について



警告

ガスコンロなどの熱源からは15cm以上離す



火災や変形の恐れがあります。

- しっかりとした水平な面に設置してください。本体前面2ヶ所の調整脚を調整し、水平にガタツキなく設置してください。
- 傾いた場所では正しく動作しないことがあります。
- 本機はドアが上に開くため、設置面から上方に67cm以上の空間があれば設置できますが、排気口から蒸気が出て結露する場合がありますため、上方の空間をできるだけあけて設置することをおすすめします。
- 給湯、排水に便利のように、流し台や調理台の上に置くのが理想的です。排水が高温のため、シンクがボコンと音を出すことがあります。排水が高温のため、シンクがボコンと音を出すことがあります。
- 凍結の恐れのある場所（室温0℃以下）や直射日光のあたる場所への設置は避けてください。
- キッチン内部など、本体周囲が密閉された場所への設置はしないでください。
- ガスコンロなどの熱源からは、15cm以上離してください。
- 本体と壁との間は、0.5cm以上離してください。

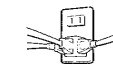
設置基準適合により、壁にくっつけて使用できますが、壁の振動防止のため上記寸法以上離すことをおすすめします。

2 電源について

電気工事は、電気設備基準に準じて行ってください。

警告

- 交流100V、15A以上の専用コンセントをご使用ください。火災の原因となりますのでタコ足配線は絶対にしないでください。

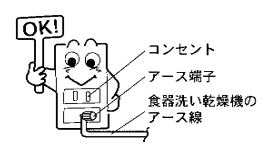


3 アースについて ※アース工事は、有料です。

警告

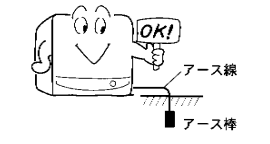
万一の感電防止のため、必ずアースをしてください。また、アースのほか漏電ブレーカー（定格電流20A・感度電流30mA）の取り付けをおすすめします。（詳しくはお買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。）
※アースの付けは必ず、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

コンセント部にアース端子がある場合



アースの先端を確実にアース端子に取り付けてください。

コンセント部にアース端子がない場合



※D種接地工事（第3種接地工事）が必要ですので販売店にご相談ください。（アース工事は電気工事士の有資格者が行うよう法令で定められています）

アース線を取り付けてはいけない場所（法令などで禁止されています。）

次のような場所にはアース線を絶対に取り付けしないでください。

- ガス管・・・爆発や引火の危険があります。
- 電話線や避雷針・・・落雷のとき危険です。
- 水道管・・・途中より塩ビ管になっているところが多いため避けてください。

4 水道水圧の確認

- 給湯器又は水道の水圧は、0.03MPa (0.3kgf/cm²) 以上、1MPa (10kgf/cm²) 以下です。水圧が低すぎると給湯に時間がかかり、運転時間が長くなります。

5 給湯接続の場合

- 給湯配管への接続は、水道工事店、またはお買い上げの販売店へご相談ください。10号以上の先止め式湯沸器に接続してください。元止め式の湯沸器には絶対に接続しないでください。※流し台の上につける湯沸器は、元止め式ですので絶対に接続しないでください。70℃以上のお湯が供給される蛇口には接続しないでください。ホースや内部の部品が破損する恐れがあり、運転を停止することがあります。

その他

据え付け (つづき)

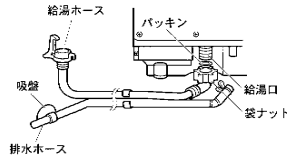
■ 内の数字は説明のあるページです。

6 本体に、給湯ホースを接続します。

給湯ホースの接続

- 給湯ホースの接続は、左右どちらか方向を決めてから袋ナットが止まるまで締め付け固定します。パッキンは、袋ナットの中に入っています。

注意 給湯ホースを締め付けた後からホースの方向を変える時は、締め付け直してください。締め付けたままホースをもって方向を変えると袋ナットがゆるみ水もれの原因になります。給湯口の内部に入っている部品は取りはずさないでください。給湯量を調整するためのフローコントローラーが入っています。



給湯ホースの延長のしかた

- 別売の給湯ホースを、接続してください。 **30** 別売品 参照

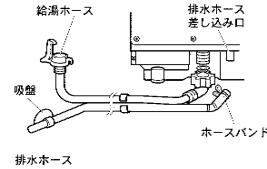
注意 給湯ホースは切らないでください。水もれの原因になります。

7 本体に、排水ホースを接続します。

排水ホースの接続

- 排水ホースの接続は、排水を出す方向を決めてから、ホースバンドをずらし、排水ホースを差し込み口に挿入します。
- ホースバンドで固定します。
- ホースが折れていないことを確認してください。また、ホースの先端を水につけないでください。
- ホースを吸盤で固定してください。 **26** 据え付け 1 参照

注意 反対方向に引っ張ると、排水ホースがねじれ、排水不能になることがあります。排水ホースの先端は設置面より低くしてください。また、途中を立ち上げる時は、20cm以下にしてください。



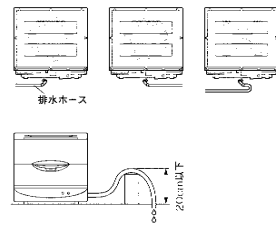
排水ホースの延長のしかた

- 別売の延長用排水ホースを、接続してください。 **30** 別売品 参照

注意 排水ホースが長すぎるときは、切ってください。長すぎると途中で折れ曲がり、排水できなくなります。吸盤は、必ずつけ直してください。(吸盤及びシンクは、常に汚れが付着していないようお手入れしてください。)

排水ホースは根元まで確実に差し込み、ホースバンドで必ず固定してください。

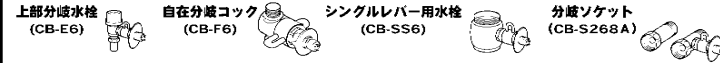
注意 延長後の排水ホースの高さは設置面より20cm以下、ホース先端の排水口は設置面より低くしてください。ホース先端についていた吸盤をはずし、延長されたホースの先端につけかえてください。延長後の排水ホースの全長は2.5m以内にしてください。



8 湯栓に「分岐水栓」または「マジックジョイント」を取り付けます。

- この機種には、「マジックジョイント」を同梱しておりません。
- 湯栓の形に合わせて「分岐水栓」または「マジックジョイント」をお買い上げください。
- 「分岐水栓」または「マジックジョイント」については、現在お使いの水道湯栓をお調べの上、販売店にご相談ください。
- 湯栓への取り付けは、「分岐水栓」または「マジックジョイント」の説明書に従ってください。

分岐水栓について

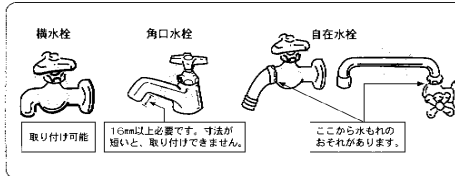


- これ以外の分岐水栓も用意しております。購入・取り付けに関しては、販売店とよくご相談ください。

マジックジョイントについて



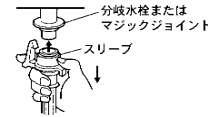
マジックジョイント **30** 別売品 参照



- すでに古いマジックジョイントがついている場合は、必ず別売の「分岐水栓」又は新しいマジックジョイントに取りかえてください。

- 自在水栓、混合水栓の場合には別売の「分岐水栓」をご使用ください。

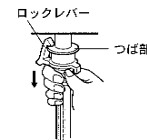
9 「分岐水栓」または「マジックジョイント」に給湯ホースを接続します。



①給湯ホースのスリーブを引き下げたままで分岐水栓またはマジックジョイントに差し込む。

②スリーブをはなし、「パチン」と音がするまで十分に差し込む。

③ロックレバーがつば部にかかっているのを確認した後、ホースを下へ引いて、完全に取り付けができていないか確認する。



その他

こんな表示がでたら

■内の数字は説明のあるページです。

●ランプの点滅とブザー音でお知らせします。(ブザーは5分間隔で16回鳴ります。)

表示部	症状	点検・処置のしかた
「表示なし」	●全然運転しない	●電源プラグが確実に差し込まれていますか。 ●電源スイッチを入れましたか。 ●温度ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電していませんか。29 停電したとき 参照 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
	●電源スイッチが「切」の状態でも排水ポンプが動作している	●修理が必要です。 電源スイッチが「切」の状態であっても給湯異常を検知した場合は、水もれを防ぐため自動的に排水ポンプが動作します。 必ず湯栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
ランプが点灯したまま	●全然運転しない	●「スタート/一時停止」ボタンを押しましたか。 ●ドアは確実に閉まっていますか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
高温/標準ランプ点滅	●水が入らない	●湯栓を開いていますか。 ●断水していませんか。29 断水したとき 参照 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
	●ドアを開けても水が出づけている	●給湯が止まらない場合。 必ず湯栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
標準/ヒートディ快速洗い/乾燥60分/加熱仕上げランプ点滅	●庫内に泡が異常に発生し、排水運転を行った	●専用洗剤以外をご使用されていませんか。3 お願い 参照 ●一般の台所用洗剤で手洗いされたときは食器に付いた洗剤を十分に洗い流されましたか。 4 落ちない汚れ 参照 ●上記にあてはまる場合は、庫内の泡を洗い流すために、「快速洗い」コースで運転を行ってください。 もし、「快速洗い」の運転時に左記表示が出る場合は電源スイッチを「切」にし、再度「入」にした後、もう一度「快速洗い」コースで運転を行ってください。 ●庫内の泡を洗い流した後、最初から操作をやり直してください。
	●異常に水位が高くなり排水運転を行った	●上記にあてはまらない場合。 必ず、湯栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

表示部	症状	点検・処置のしかた
高温/標準/ヒートディ快速洗い/乾燥60分ランプ点滅	●排水されない	●フィルターに残渣がたまって、目づまりしていませんか。 10 運転後のあとしまつ 参照 ●排水ホースが折れ曲がったりつまったりしていませんか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
快速洗い/乾燥60分ランプ点滅	●運転中に水位が下がる	●給水圧が異常に低くありませんか。 ●食器類が上向きにセットされていませんか。 ●上記点検・処置の後、最初から操作をやり直してください。
その他	上記以外の症状	●修理が必要です。 表示内容を確認して必ず湯栓を閉じ電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

- 修理が必要な項目以外でも点検・処置をして症状が改善されない場合は、必ず湯栓を閉じ、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。
(この時、表示部の表示内容を記録して販売店に説明してください。)
- ご家庭での修理は危険ですからやめてください。

こんなときは故障ではありません

状況	理由
電源を「入」にし、「スタート/一時停止」ボタンを押すとすぐに排水をはじめる。	本機が正常に運転するように洗浄内に残った水を排水する動作です。この排水動作は、以下のことが起こった後、再び運転するときに行われます。 ●停電やブレーカーの作動後 ●異常の検出や電源「切」による中断後 ●電源プラグの抜き差しした後
「乾燥60分」コース以外のコースがスタートすると給湯した後すぐに排水をはじめる。	洗浄開始から最適な給湯温度で食器の洗浄を行うために、給湯配管内にたまった冷たい水を排水するための動作です。
洗浄時間が長い	●給湯温度が低くありませんか？ 給湯器の電源、温度設定を確認してください。 ●給湯準備の排水動作を取り消していませんか？ 21 給湯準備を取り消したい場合 参照 ●給水接続の場合は、所要時間が長くなります。



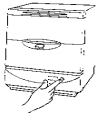
その他

ブザー音について

■内の数字は説明のあるページです。

音の回数	内容	処置のしかた
2回	●「快速洗い」コースを使用し、加熱すすぎが終了したとき	●乾燥を省きたいときは、電源スイッチを「切」にしてください。そのままですと、続けて乾燥を行います。
3回	●終了ブザー	●運転が終了した合図です。終了ブザー音は取り消すこともできます。 19 いろいろな運転のしかた 参照
	●電源スイッチを入れ、いずれかの操作ボタンを押したとき	●ドアが開まっています。ドアを確実に閉めてください。ドアの開閉ボタンの横及び天面の注意ラベルを参照ください。 13 ドアの開閉 参照
5回	●運転中ドアを開けたとき	●庫内が高温になっている場合がありますので上ドアの側面取っ手を持って開けてください。

凍結・停電・断水したとき

凍 結	<p>①電源スイッチを「切」にし、タンク内に70℃くらいの湯を約3L(ヒーターがつかかる程度)入れ、解凍してください。</p> <p>②給湯・排水ホースの場合は湯につけて解凍してください。</p> <p>③解凍後、電源スイッチを「入」にし、「快速洗い」コースで運転できることを確認してください。</p>	  
停 電	<p>①電源スイッチを「切」にします。</p> <p>②停電が回復したら、はじめから操作をやり直してください。</p>	
断 水	<p>①電源スイッチを「切」にします。</p> <p>②断水が回復してから使用する場合は、まず給湯ホースを水道蛇口からはずし、にごった水がでないことを確認した後、再び正しく取り付けて運転を開始してください。</p>	

29

アフターサービスについて

保証書について

- この食器洗い乾燥機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をよくお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 食器洗い乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年です。くわしくは保証書をご覧ください。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料で修理させていただきます。

外国での保証は

- この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.



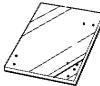


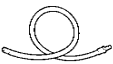
転居されるとき

- 電源周波数(Hz)の異なる地区へ転居されても50-60Hz共用ですので部品の取り換えは不要です。
- 本体を移動する前に、本体底面の水抜きキャップを外し、残水処理を行ってください。(その後水抜きキャップは、もとの位置に正しく取り付けてください。)

別売品

お求めの際はお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに連絡ください。

別売品は、商品改良のため、予告なく変更することがあります。

<p>専用洗剤</p> <p>●必ず食器洗い乾燥機専用洗剤をご使用ください。お求めの販売店でお買い求めください。</p> <p>ハイウォッシュA N-HS80A(800g入) (商品番号 403804050251)</p> 	<p>マジックジョイント (全自動洗濯機の部品と共通です。)</p> <p> 給湯ホースを食器洗い乾燥機専用として排水栓に接続する場合に使用します。 (部品番号 411510140950)</p>
<p>設置プレート (ステンレス製)</p> <p>(部品番号 KA-DW-SP11-J) シンクの上のスペースが有効活用できます。出窓に設置する場合にも活用できます。(幅520×奥行335mm)</p> 	<p>高さ調節脚</p> <p> 設置プレートと組合せて、出窓に設置できます。 (部品番号 KA-DW-SC30 高さ: 190~300mm) (部品番号 KA-DW-SC19 高さ: 120~190mm)</p>
<p>給湯ホース</p> <p>付属の給湯ホースが短い場合に使用します。</p> <p> (長さ2.2m: 部品番号 401501070001) (長さ3.2m: 部品番号 401501070002)</p>	<p>延長用排水ホース (ホースジョイントつき)</p> <p> 排水ホースを延長する場合に使用します。 (長さ1m: 部品番号 401501070003)</p>

その他

30